

牧会ファミリーシート (2024/1/7~2024/1/13)

WELCOME/ 歓迎



- 今週も楽しく牧会ファミリーを進めていきましょう！まずは、簡単なアイスブレイクで、楽しみましょう。

なぞなぞです！ お正月に食べる「お汁物」に入っている海の幸はなんでしょう？

WORSHIP/ ワーシップ



●【うたいつつあゆまん】

- 1、主にすがるわれに 悩みはなし 十字架のみもとに 荷をおろせば

※うたいつつあゆまん ハレルヤ！ ハレルヤ！ うたいつつあゆまん この世の旅路を

- 2、主のみやくそくに かわりはなし みもとにゆくまで ささえたまわん ※くり返し

- それでは、礼拝メッセージからの分かち合いに移りましょう。牧会ファミリーでは、毎週日曜日に教会で語られるメッセージを元に、分かち合いの時を持ちます。礼拝メッセージを聞いていない方でも、大丈夫です。要約の内容からで構いませんので、積極的に分かち合いに参加してください。
- 今回のみことばは、イザヤ 32:15 からです。メッセージをもとにした要約を読みましょう。

今日から「10×10の祝福」と題して、今年教会に与えられたイザヤ 32:15 のみことばから見ていきます。
 “しかし、ついに、いと高き所から私たちに霊が注がれ、荒野が果樹園となり、果樹園が森と見なされるようになる。”イザヤ 32:15 預言者イザヤがこの言葉を語った当時、イスラエルは国の存続に関わる難しい政治判断を迫られ、また、かつての偶像礼拝の影響も残る状況である、という政治的にも、信仰的にも揺らいでいた時期でした。その中で、不信仰なイスラエルに対して「メシアの統治」が預言されたのです。さて、この預言ですが、管理をするという視点で考えると「果樹園」より「森」が良いという部分に違和感を覚えました。この点から、みことばに聞いていきましょう。

「果樹園」とは、人により管理され、収穫や収益の計算が可能です。物事に向かうとき、計画を立て、さまざまな計算をして臨むタイプの人の場合「果樹園」は管理しやすく、「良い」と感じるのではないのでしょうか。対して「森」は「計算できない恵み」を表しています。実りをもたらす植物の種類、収穫の時期や、収穫する者についても把握することはできません。「森」を良い状態に保つには、剪定の必要がありますが、その収穫の恵みを計算することはできません。この「計算できない」という部分について「あなたはわたしの注ぐ恵みを管理しようとしているのか」と神様に語り掛けられました。もちろん、計算することも大切ですが、それを重んじるあまり、神様の用意している恵みや祝福にまで口を出し、コントロールしようとして「祝福を受けとらないことまである」ということに気づかされたのです。

「計算できない」状況を受け入れるということは、無計画を肯定するものではありません。森のような「計算できない」ほどの大きな恵みを、神様は用意してくださっています。その世界に飛び込む信仰があるか、その覚悟が問われています。（詩篇 126:5）この時、蒔く段階で一定の収穫は見込めたかもしれませんが、しかし、喜びを抑えられないほどに、想定を上回る祝福が用意されているのです。さらには、その時には何の収益も見出せなかったとしても、それでも主を信頼し、行動することが重要です。（伝道者の書 11:1）

「計算できない」神様の恵みを受け取るためには、自分の計算ではなく「神のみこころ」に生きる信仰が必要なのです。（ヨハネ 4:37-38）「自分で労苦していないものを刈り取る」。それが森の恵みです。果樹園は管理された恵みです。そこに入って祝福を受け取れる人は限られています。それ以外の人や動物は入れないのです。もし入れば泥棒や農作物を荒らす害獣として扱われます。しかし森はどんな人でも、動物でも入って恵みを受けることができます。

これからの本郷台キリスト教会の恵みは「森の恵み」となるのです。それがどのような恵みになるのか、私たち人間には計算できません。神様に委ねて私たちは進むのです。「その準備はできていますか」と、

神様は今年このみことばを通して問われています。そして、その働きは、次の世代のための働きでもあるのです。次の世代の人たちが豊かな祝福を刈り取るために、私たちが労苦して蒔き、涙とともに蒔き、パンを水の上に投げるのです。今年、誰も計算のできない「森の恵み」を、共に体験していきましょう。

1. これからの本郷台キリスト教会の恵みは「森の恵み」となる、と語られました。「森の恵み」がどのようなものか、また、「計算できない」森の恵みについて、あなたは管理しようとしていないか、振り返ってみましょう。
2. 神は、森のような「計算できない」大きな恵みを用意して下さっていますが、私たちはその世界に飛び込む信仰があるか、その覚悟が問われています。鎮まって主があなたに見せて下さる森を思い描きましょう。主があなたと共におられることを受け取らせていただき、祝福を祈り応答しましょう。
3. 今日のメッセージから受けた恵みを、何でも分かち合いましょう。

WORK/ わかちあい



- 1、先週、ここで話し合ったことを振り返って、この一週間でどのように進んだかを確認しましょう。感謝と課題を共有し、次のステップについて話し合いましょう。
- 2、この先、以下のような行事があります。牧会ファミリーとしてどのように関わる（オイコスを誘って共に参加する、一緒に奉仕する・・・など）ことができるか、話し合いましょう。
 - ・1/24(水)10:30～12:00 新春能楽うひまなび 於：あーすぷらざ
 - ・1/28(日)開始 ミルトスの会
 - ・2/23(金・祝)～24(土) 創立60周年記念温泉スキーツアー(万座温泉)※各行事の詳細については、ファミリー牧者に聞いてください。
- 3、新しい人がファミリーに加わるために、また、オイコスがよりしっかりとファミリーにつながるための企画について話し合いましょう。
- 4、ファミリーメンバーやその家族・友人・近所の人などで助けを必要としている人について、牧会ファミリーとして協力し合えることがないか話し合いましょう。

ファミリー開催後の連絡を、以下の3つのいずれかの中から、やりやすい方法でお願い致します。

- ・教会ホームページの牧会ファミリー開催報告フォームより。
- ・ファミリー報告メール (familyhongodai@gmail.com) より。
- ・右のQRコードより。

◎報告は、ファミリー名、場所、時間、参加者名をお願いします。

